

れいめい

社会福祉法人三山黎明会 〒371-0056 前橋市青柳町 983-1

まほろ TEL027-233-2561 / FAX027-233-2560

らいず TEL027-260-1900 / FAX027-233-2588

サニーズマーケット TEL027-212-8300 / FAX027-212-8302

アベリア TEL027-219-1133 / FAX027-233-2588

ホームソレイユ/ホームあおぞら TEL027-260-1900(らいず内)

～新しい就労のカタチ「農福連携」について～

まほろ施設長 茂木厚志

就労系の支援サービスで始まった「農福連携(のうふくれんけい)」という言葉を知っていますか？
 ここ最近、障害者の就労について注目されている福祉施策です。簡単にいうと、働き手の減ってきている農業の分野へ、収入を上げたい、働きたいと思っている障害者の労力が入れれば、どちらにとってもプラスになるのでは...という考え方を基に、各自治体が独自の特徴をもってすすめている事業です。群馬県でも2年前から予算が付いてスタートしました。まほろは開所当時から農業を収入の糧としていたこともあり、県の「農福連携部会」のメンバーとして職員の糸井綾が会議に参加しています。昨年の夏頃から内容が具体的になり、働き手の不足している農家へ近隣の施設が働きに行くという施設外就労が始まりました。まほろの場合、依頼のある農家が近いときは、人数を調整してなるべく参加するようにしています。具体的にどんな仕事をしているのか紹介いたします。

最初の仕事は、昨年12月に、レタスの植え付けの依頼がありました。まほろでは、パンジー・ビオラの出荷が落ち着いてきた時期でもあり、主に園芸班のメンバーを中心に職員1、2名とメンバー4～10名くらいで働きに出かけました。2町歩の広大な畑を、日によっては雨だったり風が強かったり、作業にならない日もありましたが、ほとんどまほろのメンバーで完了することができました。参加メンバーが責任感を持って参加できたため、期限内に完了させることができました。このがんばりが認められ、以降も定期的に仕事の依頼を受けるようになりました。3、4月はトウモロコシ苗、枝豆苗やジャガイモ種芋の植付け、5月はオクラの種まきやナス苗の植付け、7、8月は畑の整理(マルチ剥がしなど)と枝豆のもぎ取りと袋詰め作業などを行いました。今のところ2件の農家さんからの依頼ですが、9月から新しい農家からの依頼も入り、まほろの作業と並行して、どちらも成果が出るように計画をたててがんばっていきたいと思います。

始まった当初は時給250円でしたが、みんなのガンバリが評価され現在は350円まで値上げすることができました。これからもご依頼主の農家さんの期待を上回る仕事をして、もっともっと時給を上げていけるように、そして、継続して仕事の依頼をいただけるように、参加メンバーも張り合いを持って活動できるように、責任感と達成感を大切に今後も積極的に参加していきたくて考えています。

農業と福祉がつながって

日本を元気に！



レタス植え付けの様子



枝豆もぎ取りの様子

～工場見学に行ってきました～

まほろ支援員 川崎真菜美

まほろでは、働くことへの意欲の向上を目的とした活動として、「工場見学」を年に数回実施しています。今年は6月に「サントリー榛名工場（渋川）」へ行ってきました。工場の案内嬢から教えてもらったことは、ここは榛名山麓のおいしい水が確保できること、ここではお茶とコーヒーとジュースを作っていること、原材料は厳選して世界各国から取り寄せていること、自動化された機械で工程のほとんどを作るので衛生的で大量に商品が作れること、環境面にも配慮してペットボトルの廃品から従業員の制服を作っていること等を教えていただき、最後にサントリーの歴史のビデオを見て（朝ドラ「マッサン」の堤真一を思い出しました）おみやげにサントリーのペットボトルのジュースをいただきました。私たちも安全で丁寧な仕事を心がけたいとバスの中で話しながら帰ってきました。食品の工場見学はみんなの身近なものなので人気も高いです。次はどんなおいしいものの工場見学ができるのか、すでに今から皆楽しみにしています。



～音楽活動プログラムを支援に取り入れています～

らいず支援員 大竹将司

音楽活動プログラムは、音楽の生理的・心理的影響を応用して、心身の健康回復・向上を図ることを目的とする活動です。大まかな流れとしては、「線路は続くよどこまでも」の曲に合わせて利用者が部屋に入り、椅子に座って頂いて職員が点呼を取ります。続いて椅子に座った状態で「しあわせなら手をたたこう」の曲に合わせて手足を動かしたり、音の出るパッドを使用して「ドレミのうた」を演奏したりします。次に、利用者の運動能力に応じて、椅子を丸く並べ「さんぽ」の曲に合わせて椅子の周りを歩いたり、「かえるのうた」に合わせてジャンプをしたりし、手遊びを行ってからリラックスのためのゆったりした音楽を聴きながら休憩をして終了となります。キーボードに収録されている曲を使用することもあります。職員が演奏して利用者と一緒に歌を歌うこともあり、職員が時々演奏を間違えてしまうと利用者の方々は笑ってくださる等、穏やかな雰囲気の中で活動が出来ているのかな、と感じています。

らいずの活動はまだまだ発展途上だと考えています。より良い支援とは何かを常に考えながら利用者に関わっていきたく思います。



～多くの人たちに支えられています！～

サニーズマーケット支援員 新井智子

サニーズマーケットの活動はこれまで多くの企業にご協力いただきながら活動の幅を広げることが出来ました。その中に、今年から多くの作業を提供してくださっている（株）グリーンリーフ様との取組みがありますので紹介したいと思います。取組み当初は、シール貼りやカシューナツの袋詰めと作業量は多くありませんでしたが、ご依頼を受けた作業を少しずつではありますが、仲間と協力して真剣に取り組んできた結果、ミスなく作業をこなし仕上げられるようになってきました。たくさん上げることができるようになると、利用者の方々にとってもやりがいと共に自信も持てるようになり、現在では、これまでの作業に加え、玉ねぎの皮むき・唐辛子の枝切りと、新たな作業もご依頼を受けるようになり、忙しくも充実した仕事にやりがいを感じ大変うれしく思っています。一方、お店の方などまだまだ課題も多いことも事実です。これからも利用者の方々によりやりがいや生きがいをもって元気に働いて頂けるよう工夫を凝らしながら、地域から愛されるサニーズマーケットとなれるよう、一步一步、歩みを進めていきたいと思っています。



～ソレイユの支援～

ホームソレイユ世話人 吉田ユカリ

皆さん、こんにちは。今回はホームでの生活の様子について皆様にお伝えします。

朝は起きて朝食を食べ、それから歯磨きや身支度などを整えて出勤前の準備に入ります。利用者の方々は上手に準備ができていて、余った時間はテレビを見たりゆったりとお迎えのバスが来るまでの時間を過ごしています。夕方、帰ってきてからは、洗濯物を片づけたり必要であれば着替えをしたり、うがい・手洗いの後、職場での出来事などおしゃべりをしながら夕食準備までの時間を過ごしています。夕食の準備は、個々の能力に応じて役割分担を行い、食材を包丁で切ってもらったり、鍋やフライパンに火を入れて調理も共同で行っています。包丁や火が苦手な方は、はしや茶わんを用意してもらったりテーブルをきれいにしてもらったりと、皆さん協力的なのでとても助かっています。夕食後は、順番でお風呂に入ってもらい、その時にも施設での出来事や楽しみにしていることなど教えてくれたり、テレビや音楽を聴くなど自由に過ごされている方もいらっしゃいます。これからは「秋の夜長」なんて季節にもなりますが、ホームでは一日一日を規則正しく健康に生活していただくことに留意しながら、皆が仲良く生活をつづけられるように過ごしやすい環境にしていきたいです。また、ホームでもその季節に合った行事を考え行っています。例えば、2月なら節分の豆まきを行います。このときは夕食も少し豪華に手巻き寿司です。冬至であればゆず風呂、12月はクリスマス会といった具合です。その他には、誕生日会や年に1～2回のカラオケに出かけたり、時には食事会として外食にも出かけたりしています。これらのイベントで一番人気なのは、やはりクリスマス会でしょうか。去年は皆で焼肉レストランに行きました。この時はサンタさんからのプレゼントもあり皆さんニコニコでした。どうですか？楽しそうでしょう！実は今、ラッキーなことに！？ホームのお部屋が1部屋空いています。どうかなあ！？と思っているお父さん、お母さん、利用者の方、ホームでは入所前のホーム体験ができますので、体験に来てみてはいかがでしょうか？皆さんのお越しを皆でお待ちしています。

～あおぞらの支援～

らいず/あおぞら支援員 吉田翔太

ホームあおぞらには現在、男性4名・女性3名の利用者が生活しています。

日中の活動が終わると送迎バスに乗りホームへ向かいます。あおぞらは比較的障害の重い方が多くご利用されているので、利用者の方がホームに滞在中は必ず職員が安全見守りができるよう待機となります。皆が帰ってくる時間に停留所に迎えに行きます。到着後は施設からの連絡事項を確認しながら少しの間お茶を飲んだりしてリラックスします。その後は夕食の準備が整うまで、テレビを見たり絵をかいたり遊具で遊んだりと各々自由時間となります。夕食は、皆でそろっていただきます。基本的には、自分でできることはなるべくやってもらうことが目標となりますが、あおぞらではなかなか難しい方も多いため、食後の片づけや入浴・身辺処理など、場面に応じて職員がサポートに入ります。また、夜間就寝時の安全見守りも大切な支援の一つとなります。以上が、大まかな一日の流れとなります。これからも一人ひとりの困りごとに目を向けながら日々充実した生活が送れるよう頑張っていきたいと思っています。

～相談支援事業所アベリアより～

アベリア相談支援専門員 牛込敦彦

アベリアでの相談支援業務とは、障害をお持ちの方達が、住み慣れた地域や環境で安心して豊かに暮らしを続けていくために必要なサービスや制度の利用方法を提案し、様々なサービスを上手に利用出来るように一緒に考えていく事を業務としています。つまりは本人を取り巻く関係を常に調整しながら生活ができるようコーディネート（調整）する役割となります。障害をお持ちの方達一人ひとりのニーズを的確に把握し、ニーズを充足し、本人の可能性を最大限引き出す事を目標としています。日々の生活の中で困っている事はたくさんあるかと思います。アベリアでは本人、家族の方達と一緒に考えて、悩み、最善の方法を提案できればと思います。今後ともお困りのことがあればお声を聞かせてください。

本部事業報告（平成28年度事業報告）

日付	項目	内容
5/19	法人内部監査	1.平成27年度会計執行状況・施設運営状況 2.平成27年度有機栽培申請に係る内部監査
5/21	第1回評議員会及び理事会	1.平成27年度事業報告について 2.平成27年度決算報告及び内部監査報告について 3.建物設備工事計画について 4.車両購入について
5/27	れいめい祭	
10/29	第2回評議員会及び理事会	1.平成28年度第1次補正予算について 2.社会福祉法人制度改革について 3.防犯カメラ設置について
3/11	第3回評議員会及び理事会	1.平成28年度第2次補正予算について 2.平成29年度事業計画について 3.平成29年度当初予算について 4.土地取得について 5.評議員の選任について 6.就業規則見直しについて 7.処遇改善事業実施について 8.経理規程見直しについて

社会福祉法人三山黎明会ホームページのご案内（法人情報を公開しています）

法人の詳しい事業内容等をご覧になれます

<http://www.mireimei.or.jp/>

～れいめい祭を振り返って～

平成29年度れいめい祭実行委員 まほろ支援員 高平直明

今年も5月27日（土）に、れいめい祭が開催されました。天気に恵まれ晴天の中でのお祭りでした。れいめい祭の案内看板の設置を道路わきで作業中に、散歩している方に「今年もお祭りやるんですね！楽しみにしています。」と声を掛けていただきました。その方は富士見に住んでいて、毎年れいめい祭を楽しみにしていただいているとのことで、とても嬉しく思いました。れいめい祭が広くたくさんの方に浸透し、25年の歴史を感じるお祭りになってきていると感じました。模擬店では、新メニューの窯焼きピザを販売しました。材料にもこだわった本格ピザは、ピザ職人の方にも応援をお願いし、行列ができるくらいの美味しさで、用意した70食が開始から2時間ほどで完売してしまいました。また、いつもご協力をいただいているケータリング屋さん、保護者の模擬店、職員模擬店、みくに観光社様からご提供いただいたところてん、それに野菜くらぶ様からご提供いただいた野菜なども大好評でした。また、ステージでは、一部団体と都合が合わず、ご出演いただけなかったのがとても残念でしたが、らいず・まほろ利用者の選抜隊による「エイサー」をはじめ、それぞれの施設利用者の出し物、八木節、アコーディオン、合唱、バルーンアート、演舞、フォークダンスなど、今回もたくさんの方々から応援をいただきました。

最後になりましたが、ご協力して頂いた個人・団体・学生ボランティアの皆様、ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。みんなで楽しめたすてきな一日になりました。

